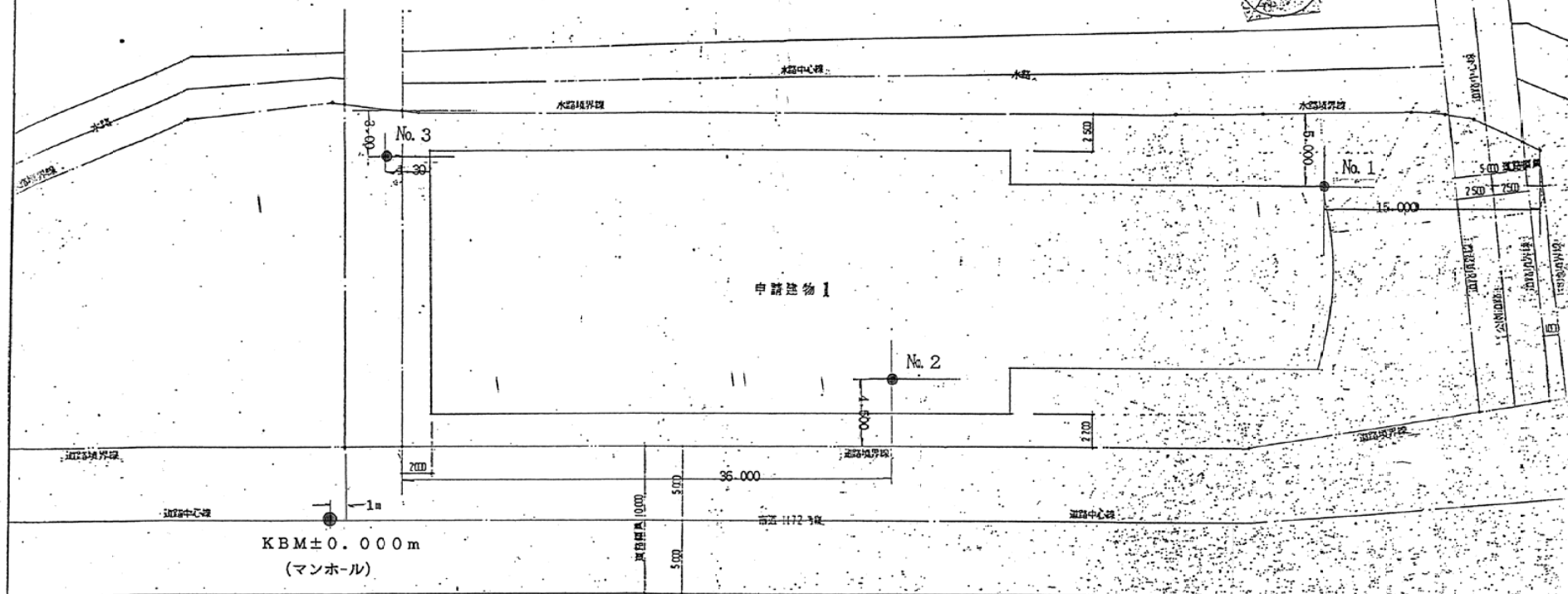


# 地質調査位置図

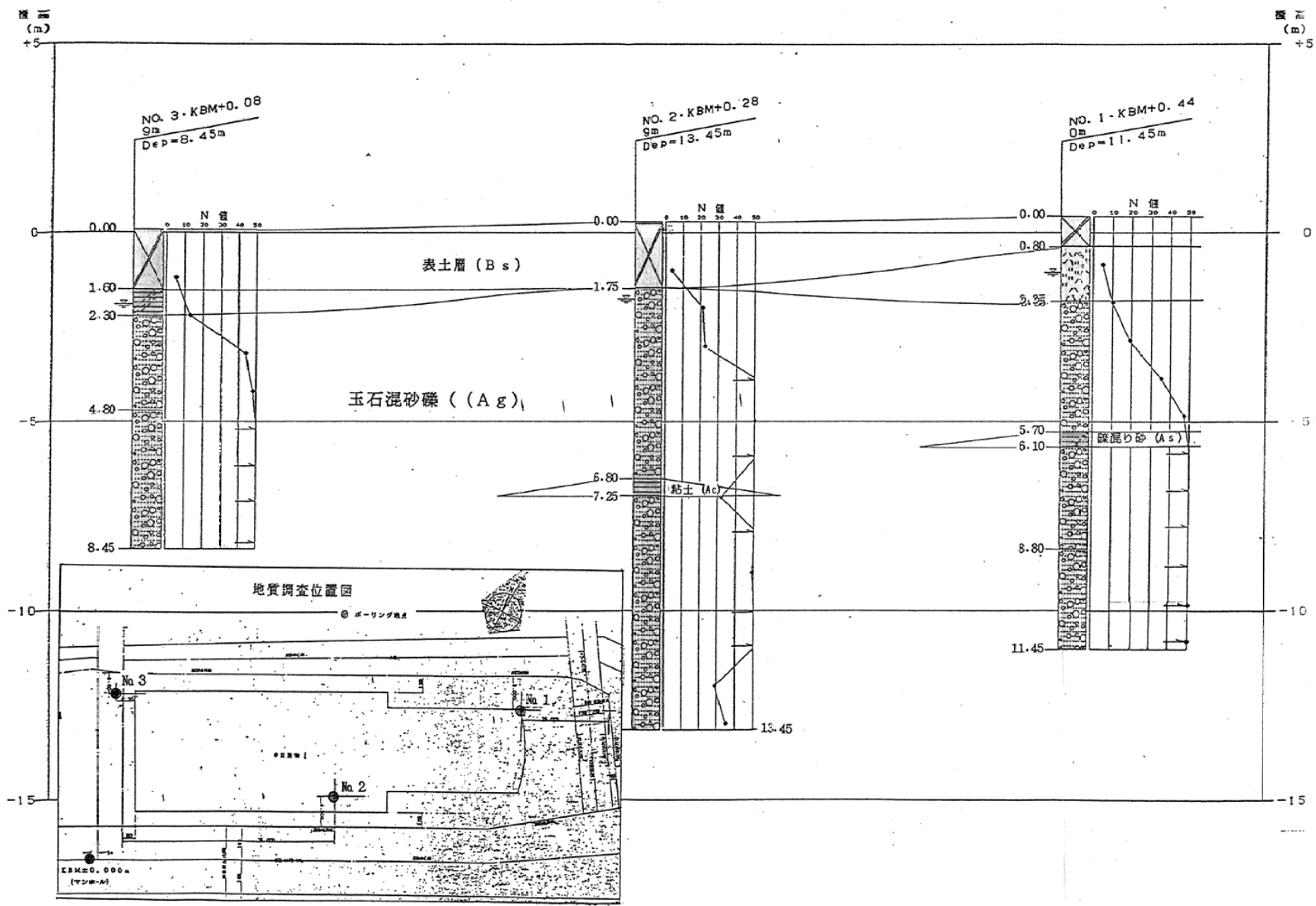
● ボーリング地点



調査名称	依頼 宇都宮市職員会館地質調査
図面名	調査位置図 S = 1 : 300
調査年月	平成 5年 7月
	須田地下工機株式会社

# 地質推定断面図

横S = 1 : 300 · 縦S = 1 : 100







土質柱状図

調査名 宇都宮市職員会館地質調査 調査年月日 平成 5年 6月29日  
 調査位置 宇都宮市下河原一丁目地内 ~ 平成 5年 6月 1日  
 地点番号 NO.3 標高 KBM#0.089 m 機種 KR-100  
 総掘進長 8.45 m 孔内水位 GL -2.00 m 担当者名

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録			標準貫入試験				採取試料・原位置試験						
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数 / 貫入量	10cmごとの 打撃回数			N 値	試料 番号	測定 番号	深さ m	方 法
										10 cm	20 cm	30 cm					
1	-1.5	1.60	1.60	盛土	茶褐色	ローム混り砂礫で、φ5~40mmの礫主体にφ70mm程度混入する。0.60~0.90m間混濁りローム状。深褐色のローム質粘土で下部に微いシルト層の混入が多くなる。φ30~80mm、最大φ100~120mmの礫混入する。手動的に木片を混入し、多量に混入する所ある。	1.15	5/30	1	2	2						
2	-2.2	2.30	0.70			2.45	13/30	1	4	8							
3				シルト質粘土	黒灰色	有礫物の混入ある。含水、軟弱共に中~大位。	3.15	44/30	15	11	18						
4	-4.7	4.80	2.50	砂礫	灰青色	φ2~30mmの亜円礫主体に、最大φ80~100mm内外点存在する。マトリックスは中~粗砂主体。含水大位。	3.45	48/30	15	12	21						
5						φ2~30mmの亜円礫主体に、最大φ80~100mm内外点存在する。	4.45	50/29	23	15	12						
6						7.15~7.70m間φ80~100mm内外の礫混入多い。マトリックスは中~粗砂主体に細粒土混る。	5.44	50/22	21	23	6						
7				砂礫	褐灰色		6.15	50/22	21	23	6						
8	-8.36	8.45	3.65				6.37	50/11	35	15	1						
9							7.26	55/30	28	12	15						